

日時：令和3年8月6日（金） 14時00分～16時15分

場所：4階多目的ホール

資料の訂正 資料No.3 鯖江市総合戦略 K P I（主な重要業績評価指標）一覧について
1 ページ目上段 青色△「目標値を達成」（44）46%、黄色△「改善したが目標値には達成しない」（6）6%、赤色△「後退した」（30）31%を
青色△の数値を（46）48%と、黄色△の数値を（5）5%と、赤色△の数値を
（29）30%と訂正
この訂正の原因 ①資料5 ページ K P I 指標48番「元気生活率（全高齢者に占める介護認定を受けていない人の割合）」を順調に推移するものに該当 青色表示に変更。②資料7 ページ K P I 指標73番「橋梁長寿命化に伴う修繕箇所数」を青色表示に変更。

次第のとおり進行

資料3「鯖江市総合戦略 K P I（主な重要業績評価指標）一覧」の説明

- 政策経営部長 全体説明。80指標中 順調46指標48%、改善したがスピードが遅い5指標5%、後退している29指標30%。進捗が今ひとつと思われる青以外のK P Iについて、各担当部長から内容を説明する。
- 産業環境部長 4 成長分野等新技術開発補助金の採択数だが、この事業をコロナ対応事業に組み替えたため実施しなかった。横バーに変更する。
- 1 1 テレワークや時短勤務、女性が働きやすい環境を整備していく事業として1件の取組みがあった。その他はコロナ対応事業に組み替えて実施した。令和6年に向けては10件に向けて、進めていく。
- 政策経営部長 2 0 国機関の社人研では若者（15歳から29歳）の社会増減について13人ずつ減っていく推計がされている。この現象を食い止めていこうとするもの。R2は残念ながら10名の減少となった。3人戻した。今後30人にむけては届いていない。
- 総務部長 2 1 提案事業 具現化に修正。地域活性化プランコンテストの採択件数が0件（6つの提案）継続的にすすめていく。
- 2 2 J K課自主企画数。1件で策定時より減っている。オンラインミーティングなど対応したが、コロナによって実施が難しかった。今年度も引き続き委嘱し活動を進めているが、コロナ終息後進める。
- 政策経営部長 2 4 移住相談件数で策定時は71件あったが、R2は37件、非常に目標にほど遠い結果。県や市のU I ターン等で移住定住の相談を受けているが、コロナのため中々実施できず。
- 教委事務部長 3 0 行政出前講座の参加者数について1000人を1300人に伸ばす。R2は落ちこんだ。コロナ禍の影響。小中学校休校、公民館休館、6月末まで時間制限等で人数が落ち込んだ。前期245人、後期490人に。

R3は4, 5月の2か月で332人で昨年を超えている。今年度は目標達成できそう。

- 総務部長 31 まちづくりの提案する団体数 51にとどまった。策定時と変わらない提案型は増えたが、基金事業が伸び悩み
- 32 まちづくりの提案事業数 提案型は増えたが、基金事業が伸び悩み
- 33 提案型市民主役事業の募集事業数は104件と伸びている。別にまちづくり基金事業を実施している。基金事業に提案をする団体数と事業数を指標化 市民主役の活発化の指標 コロナ 63にとどまった
- 34 10地区のまちづくりイベント参加者数 各地区の融和と協働のまちづくり事業の交付金等によってイベント等を実施している コロナ禍によってイベント中止が相次いだ。
- 政策経営部長 35 シェリングエコノミーの登録数を策定時の24を55件まで増やす。R2は主要なプラットフォームの数値で21件、車 駐車場の共有。
- 産業環境部長 36 年間観光客R2 95万人、190万人を目指している。策定時188万人がコロナの影響でつつじまつり、越前漆器まつりの中止。
- 37 産業観光施設の年間来館者数。めがねミュージアム、うるしの里、石田縞手織りセンター3施設の来館者数。30万人を目指しているが、R2が17万人となり、コロナの影響 観光客の減少。
- 政策経営部長 38 出生数。4年間の平均値。策定時はH27からH30の平均値で582人となっている。R3からR6までで620人を目指している。増加する目標にしている。今回のH29からR2までの4年間の平均値565人で減少、コロナによる産み控え、過去5年の出生数は28年：567人、29年：559人、30年：604人、1年：561人、2年：537人
- 健康福祉部長 43 子育てサポーター登録者数 地域や子育て支援センターに登録するボランティア 養成講座を受講し登録する。R2は例年2回の養成講座自体1回しか実施できなかった。実施事業も制限された。
- 44 活動率 コロナによって活動を中止などした コロナ終息により増える予定
- 教委事務部長 47 朝食を食べている児童・生徒の割合。アンケート調査を実施している。98を99に目標している。横ばいで推移。
- 健康福祉部長 49 地域見守り体制の整備率 86%から100%に向けて、地域や区長の力を借りて見守り体制を整備している。区長へのアンケートの実施、サロン事業を活用。153中129町内が実施。
- 教委事務部長 50 高年大学活動参加者数。策定時37000人を4万人にする。R2は休校で例年4~11開校している。クラブのみ実施。今年は9月1日 3か月開校。
- 51 公民館 4~5月は休館、6月中旬まで時間制限していたため、策定時39.3万人が26.1万人に減った。
- 総務部長 55 情報利活用講座等の受講者数。デジタルファースト推進を計測していく。

- R 2は策定時に比べ114人と減っている。コロナの影響で、ITに親しむ講座はオンラインで14回、114人参加した。高年大学講座は中止した。
- 総務部長 57 オープンデータアプリ累計値。アプリの数が増えることによってデジタルファーストを進めていく指標。策定時と同じ250を計上している。250については届け出ではない。現状維持にしている数値は今後把握していく。
- 都市整備部長 61 道の駅西山公園の来場者数。策定時38万人を維持する目標。コロナの影響 感染防止対策で4月20日から5月末まで休館していた。つつじのいい季節、つつじ祭りの中止 減った
- 都市整備部長 62 西山動物園年間来場者数 4・1～5末まで入館禁止にしていた。20万人目標だが、11万人となり、大幅に減少した。
- 総務部長 63 つつじバス年間利用者数 つつじバスは10.1に減った。特に4～5月が緊急事態宣言期間にあり大きく減った
- 64 福井鉄道福武線年間利用者数 福鉄も同様37.3万人と大きく減った。通勤はあまり減少しなかった。通学と定期外が大きく減った。
- 総務部長 68 自主防災活動実施率 出前講座、サロン事業、自主防災組織活性化事業補助金の執行、町内での防災訓練などを行った町内数の合計を15町内会で割って実施率としている。24.1%で37件しかなかった。コロナの影響による。
- 政策経営部長 74 毎年3件の目標にしている。民間の木造住宅の耐震改修補助の件数、0件 相談は担当課で受けている。新築にシフトしている可能性あり。
- 産業環境部長 77 1人1日あたりのゴミが増えている。R6が810gで高めの数値目標。コロナ禍でステイホームによってごみが増える。家庭系、事業系、搬入ゴミ合わせての数値。
- 78 12.3%を17%に。R2が11.8%と減っている。分別意識が減ってきている。啓発を進める。
- 79 まち美化活動取組み団体数 ふる里さばえ美化ピカ活動支援事業を出して実施。6件から6件で維持する目標。R2は定次町のこさらいしゅうずをきれいにしていく活動。コロナ禍で団体活動自粛。
- 80 外来植物防除活動取組み箇所 5件から5件で維持する目標 外来植物を駆除していく。松成町の2か所。
- 政策経営部長 86 財政調整基金の年度末残高 突発的な支出に対応するため積み立てる。いわゆる貯金で年間30億までとどめる。R2は30億を下回った。コロナ対応財源として使ったため減った。
- 92 市税の徴収率 99%を目標としている。現年98.5にとどまるが、今後進めていく。
- 総務部長 95 日本語教室開催数 国際交流協会開催の日本語教室および日本語サポーター養成講座の数値。60回の目標に向けて、R2は44で策定時より

政策経営部長

減少したが、コロナで7月まで未実施

総括。新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けた結果、多くの指標が目標に到達できていない状況。さらに今年度におきましても引き続きコロナ禍の渦中で、昨年までではないものの大きく影響を受ける。そういった状況下でも、各部各課ではコロナ禍において、少しでも目標に到達できるよう、工夫しながら事務事業の実施にあたる。現時点では今後のコロナ禍の動向を推測することは困難であり、国民のワクチン接種が全国的に進むことによる生活様式の見直しなど、大きな転機を迎えるまでは、PDCAサイクルのA（戦略の見直し・アクション）を行わない方向で考えている。状況にもよるが、令和4年度の推進会議で、このような作業を行いたい。

引き続き、資料4の説明。地方創生交付金等に係るKPIの達成である。交付金等の制度要綱の規定で、事業実施に伴う効果の検証を行い、その結果を国に報告することになっている。資料No.3と同様に示している。順調に推移している場合は青色で全部で4指標、改善はしているもののスピードが遅いものは黄色で7指標、後退しているものは赤色で9指標。事業ごとに開始年度が違う。平成28年度からの事業がNo.1、平成29年度からの事業がNo.2、No.3、令和元年度からの事業がNo.4、令和2年度からの事業がNo.5、No.6。No.1以外の事業が来年度以降も引き続き進捗管理し国に報告する。黄色もしくは赤色の指標のある各事業について担当の部長から説明する。

資料4「地方創生交付金等活用事業に係るKPI」の説明

産業環境部長 1

新たな客層開拓に向けた観光拠点性事業

ラポーゼかわだ宿泊数 R2 3418人。平均5～6千人である。コロナ禍で閉館等を余儀なくされた。県外客が利用できず。

体験施設利用者数 体験者数 R2 1302人。例年1万人の利用。コロナ禍で閉館等や利用時間の短縮等を余儀なくされた。内容は、そば打ち、ピザ、パン焼き等の体験など。

総売り上げ額 7248.5万円で、例年の1億5千万程度に比べ大きく減った。コロナ禍で閉館等や利用時間の短縮等を余儀なくされた。

産業環境部長 2

めがねのまちさばえ次世代産業支援事業

産地業界アンテナショップ（東京、鯖江）、うるしの里会館の来場者数 169690人。うるしの里会館だと例年8～9万人が4万6千人、めがねミュージアムの例年20万人だが11万人、グラスギャラリー通常7千人だが3500人。

ウェアラブル情報端末など成長産業分野商談件数 16件商談成立目標には到達していない。

本市産医療機器の試験採用件数 医療分野眼鏡技術の参入している。

シャルマン 100件実績。輸出ができにくいため。

本市産医療機器の受注額 954万円 5億以上の受注があるが、伸び率は低い。コロナの栄養もあるが、外国産が強い。

健康福祉部長 3 生涯活躍のまちの推進に資する世代交流の拠点施設の整備事業

神明苑の宿泊数 コロナの影響 4月から6月に全館休館した。県外往来の規制でキャンセル発生して、1476人と大きく目標を下回った。

体育施設 感染対策を実施し営業したが、4月から6月に全館休館や人数制限での利用などによって10580人となった。

総売上数 利用者数の減少に加え、法事、宴会の売り上げがなかった。6224万円となった。

産業環境部長 4 新ふるさと県民の地域貢献促進事業 県管理のKPI

地域プロジェクトに参加する県外在住者数(関係人口) R2は89人。県の関わり方エキスポの参加者数。オンラインで街をつなぐ。地域の良さを知ってもらう。

企業訪問ツアーに参加する大学生等 市の事業を県が活用。育職住ツアー、鯖江の住みやすさ、働きやすさを実感する事業。コロナ禍で実施できず。0人

ソーシャルビジネス 若狭ソーシャルビジネスカレッジ2020を7回実施。地域の姿をビジネスにつなげる取組み。

移住者数 184人の実績。900人の目標 県全域の数値をまとめている。

政策経営部長 5 女性活躍・SDGs推進による世界のめがねの聖地SABAE確立事業

推進センターを中心とした活動

女性活躍推進事業採択数 多様な働き方事業所への補助金として時短勤務等を実施する中小企業への補助 補助採択数 9件に向けている
1件の結果

産業環境部長 6 伝統工芸後継者育成産地連携プロジェクト 県管理のKPI

伝統工芸施設や産業観光イベント来場者数 25万人 目標の約半分。うるしの里会館、RENEW 越前和紙の里やナイフビレッジ、陶芸村、越前市蔵の辻や箆笥町、テオヤンセンの来場者数を計上。

海外市場については県が調査中。

政策経営部長 全体総括

地方創生推進交付金についても、総合戦略同様、新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けた。多くの指標が目標に到達できていない。さらに今年度においても引き続きコロナ禍の渦中にあり、昨年までではないものの大きく影響を受ける。

事業No.1については3指標全てが事業前よりも減少していることから、今年度は「地方創生に効果がなかった」

事業No.2については、4指標の内1つが事業前よりも減少し、残り3指標は目標に達しなかつ

都市整備部長 売上については R1 と R2 で比較しても大きく下がっていない。利用者は減っているが、客単価上がっている。R3 も利用者数は減っているが、並行して減っていない。他の道の駅との差別化については、西山公園という特色、動物園など全体でグッズ販売など、相乗効果を出して、他の道の駅との差別化を図っている。

委員 5 コロナの影響がすべてマイナスではない。KPI について、コロナでマイナスをプラスにする指標ができればいいと思っている。20 番の若者の社会減の抑制について、マイナス 5.2 を出発点でかんがえると大きく＋と思う。黄色評価であるが、コロナによって若者の県外への流出が減ったと考えられる。コロナのプラス面ではないかとも思う。

政策経営部長 先生の言う通り、検証して表現方法を検討していく。プラス評価はありがたい。

健康福祉部長 放課後児童クラブの人数 5月1日 918名登録 夏休み 直営のみ481名申し込みとなっている。この人数がどうなっているのか、去年と今年の比較が知りたい。

会長 意見ありがとうございます。コメントとして。皆さんご指摘のコロナに関してですが、行政の皆さんも懸命に取り組んでいることを前提に申し上げます。

24 25 相談は減ったが、HP は増加というのは、コロナ禍がすべて悪いわけではなく、アプローチを考え直していく。出向くことはできないのでHPで情報を取りに行くということで、非常に興味を持たれていることがわかる。コロナによって地方移住を考えている人増えている。

R6 に受けては、始まったばかりなので、見直しを実施していかないといけない。コロナのように大きな変動の時期を急に迎えた。今の段階で着手すべき。観光の点、アジア観光客を流入は今の情勢では難しい。富裕層などを招き入れるなどターゲットを見直すことも必要ではないかと思う。来年度に向けて指標を見直しいただければ市民も納得されると思う。

事務局 閉会。